

ICT分野の研究開発人材育成

2006. 11. 1

松下電器産業株式会社

コーポレートR&D戦略室

宮部 義幸

内 容

1. デジタル家電業界の現状

価格競争の激化

商品ライフサイクルの短命化

ソフトウェア開発規模の爆発

2. 家電のデジタル化からネットワーク化への流れ

3. ネット家電の将来の姿

4. ネットワークコンピューティングアーキテクチャの変化

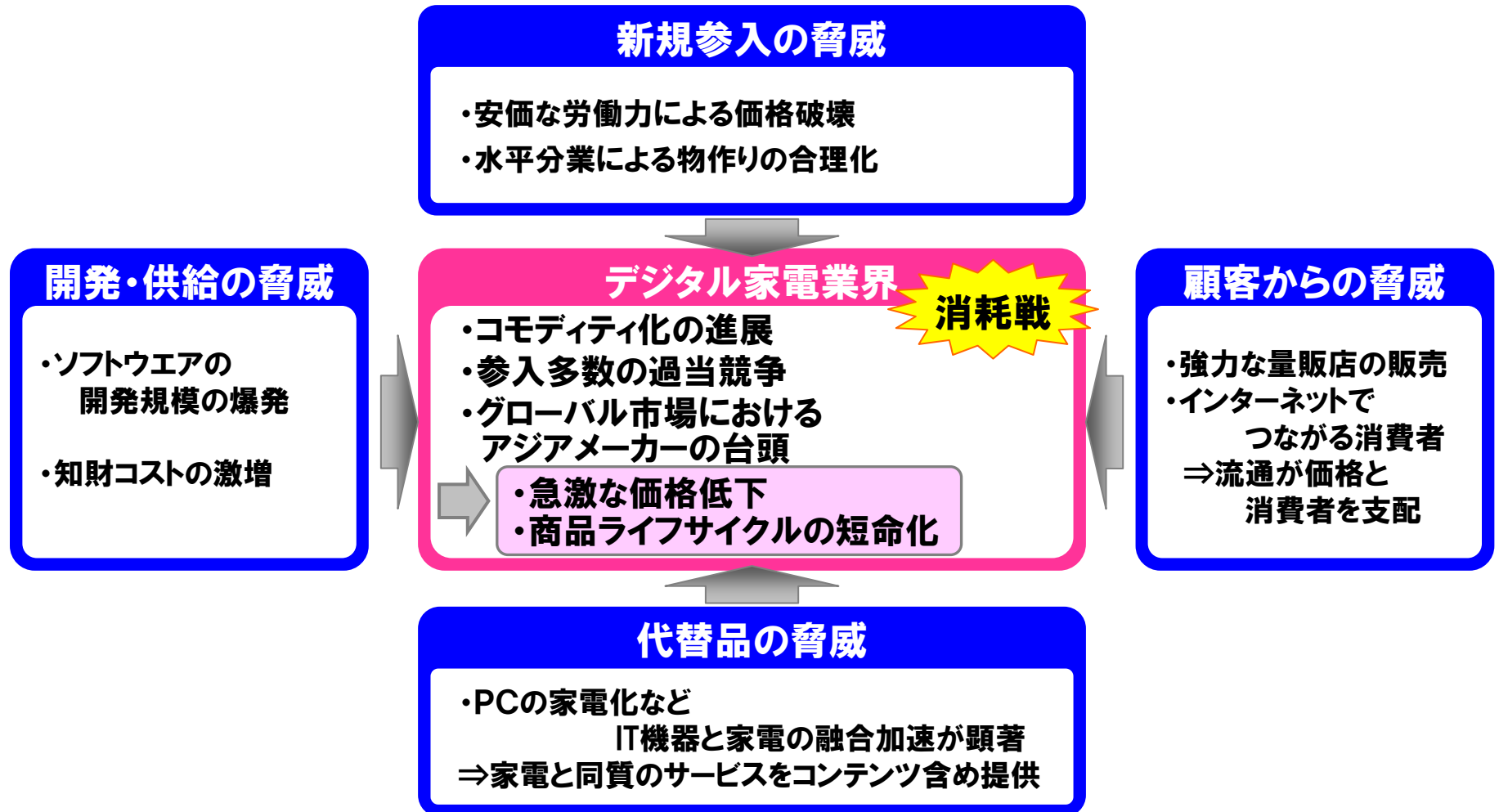
5. 競争力強化に向けた仕組み

6. ICT分野強化のための人材育成

デジタル家電業界の現状

■電機業界をとりまく事業環境が極めて厳しい！

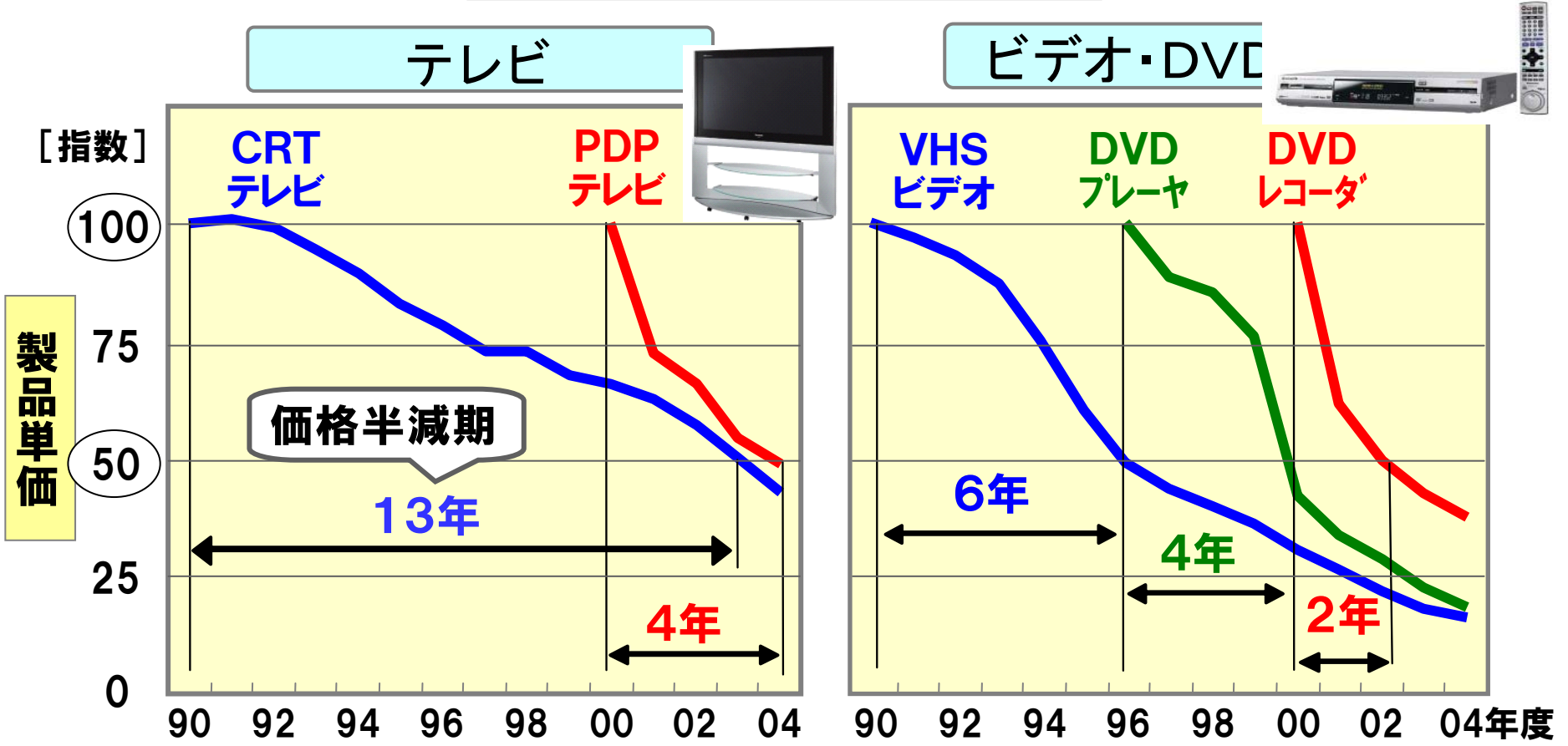
・デジタル化で競争が激化し、メーカー間の消耗戦に突入



価格競争の激化

グローバル競争が激化し、急激な価格低下が進む

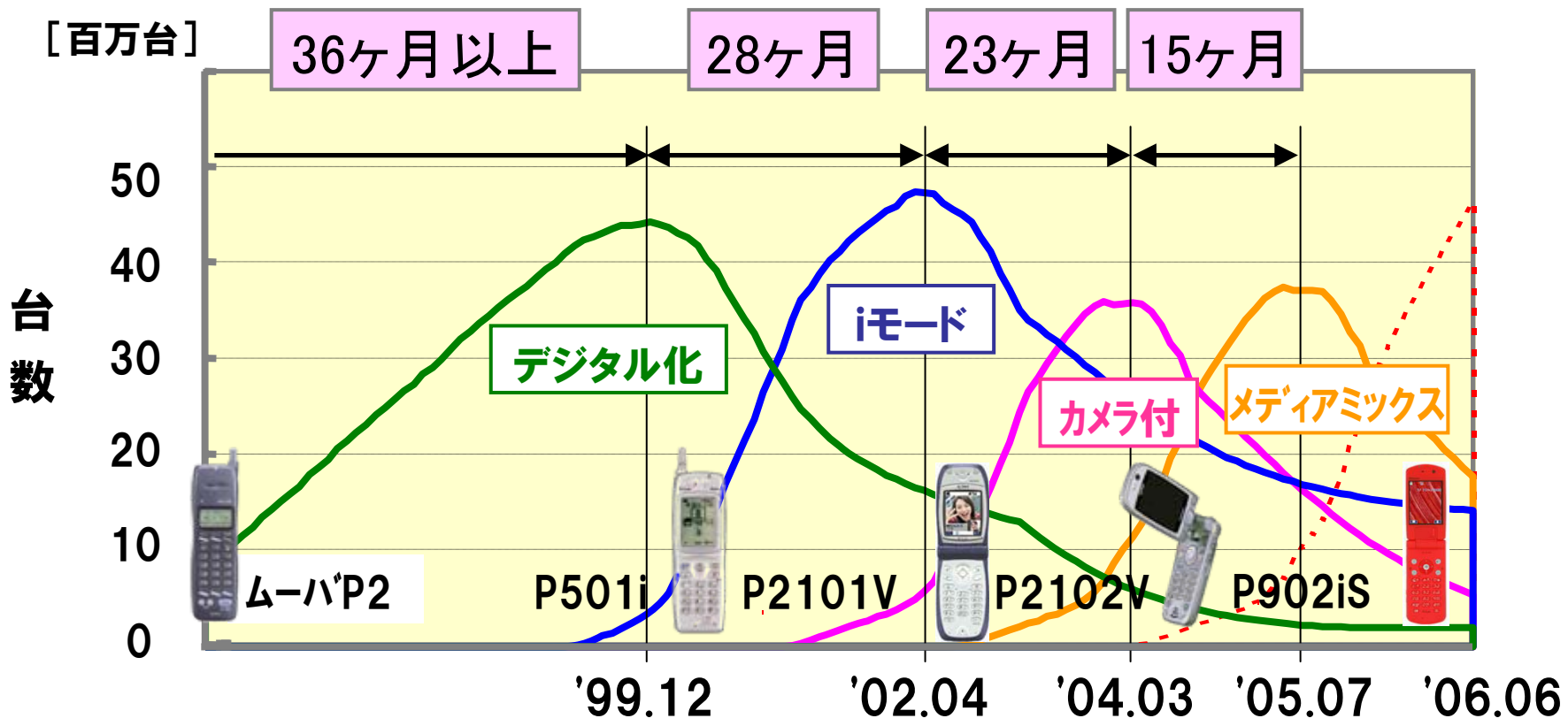
デジタル家電の価格推移



商品ライフサイクルの短命化

収穫期が短くなり、投資一回収の早期化が必要

携帯電話の事例



ソフトウェア開発規模の爆発

デジタル家電におけるソフトウェア開発の規模が急増

↑
ソフトウェア開発規模

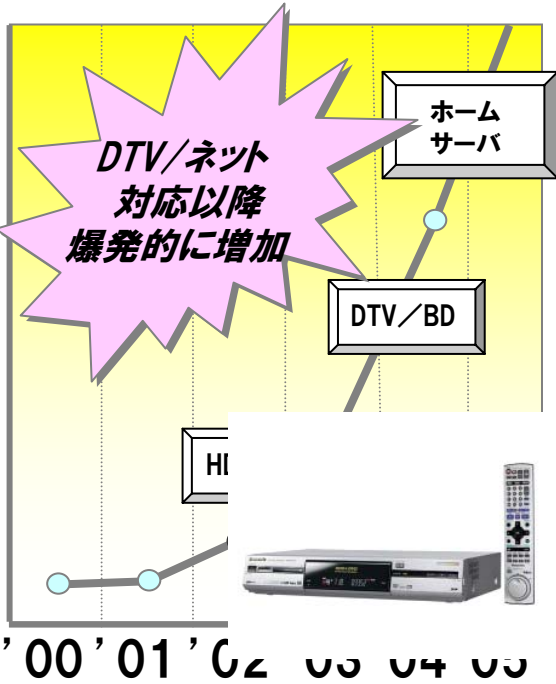
携帯電話



デジタルTV



DVDレコーダ



ソフトウェア開発規模が数百万ステップ、数千人・月に急増

家電のデジタル化からネットワーク化への流れ

デジタル化

ネットワーク化

1985

1990

1995

2000

2005

2010

オーディオ &
ビジュアル

放送・通信連携、インターネット対応

放送のデジタル化

BSデジタル CS110 地上デジタル

パッケージメディアの デジタル化



CD



DVC



DVD
プレーヤ



SD



DSC



DVD
レコーダ



BDレコーダ



薄型TV
(Tナビ)

ホームバス

PC (DOS/V)



インターネット利用

くらしステーション

高速常時接続

ネットワー
ク
カメラ

コミュニケーション
& IT

モバイルのデジタル化

デジタル
携帯電話

i-mode 通信カーナビ

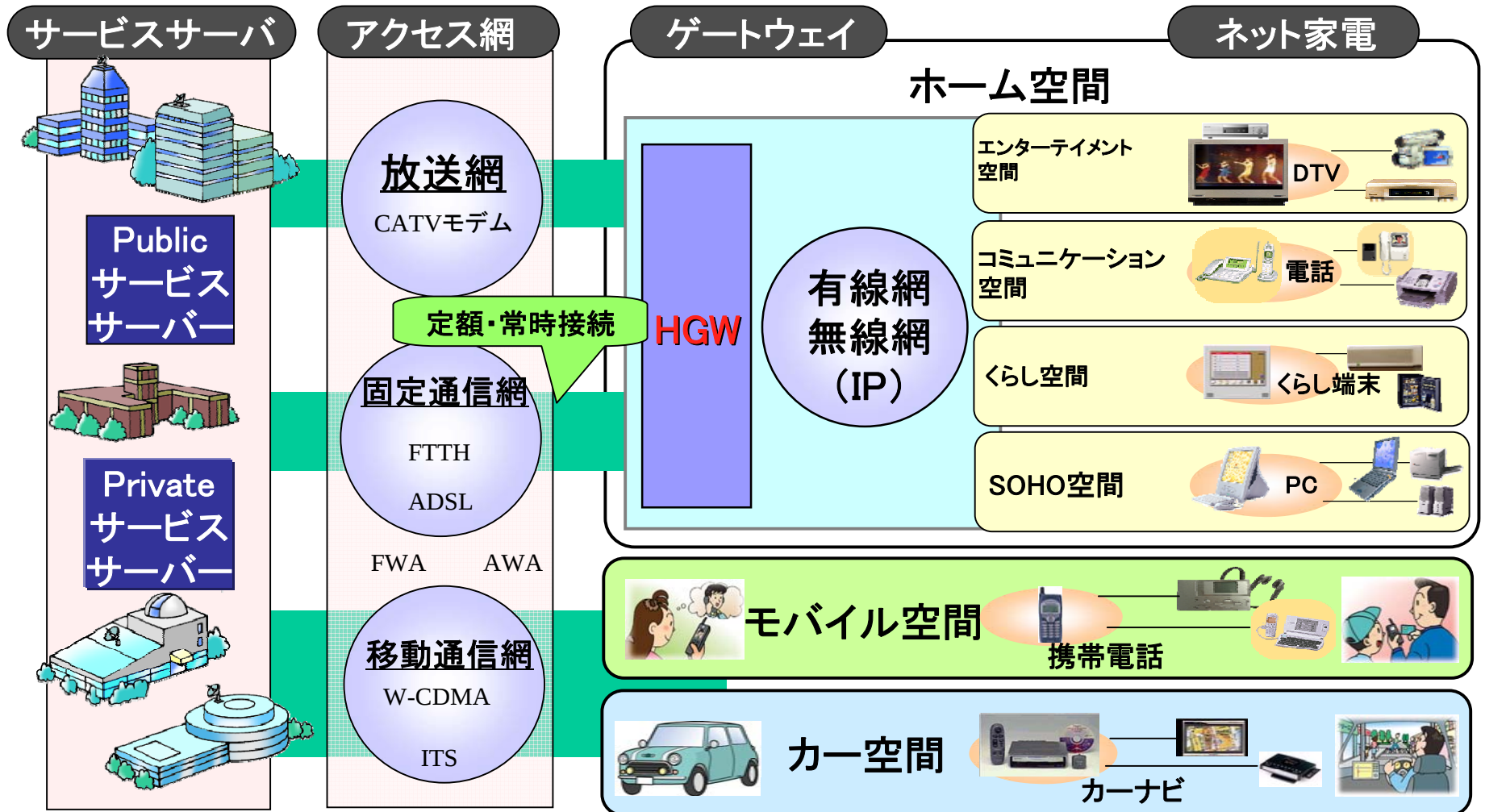
P901i

P901iTV

ユビキタスネットワーク
社会の実現

ネット家電の将来の姿

- ・単品からネットワークに繋がるネット家電に進化。
- ・新たな付加価値の創造が必要。



ネットワークコンピューティングアーキテクチャが変わる

- ・ネットワークへ接続される機器の要求仕様、開発環境が大きく変化。
(数量、用途、利用者のネットワークの知識および設計開発者の質)

▼2006-8年頃始まる

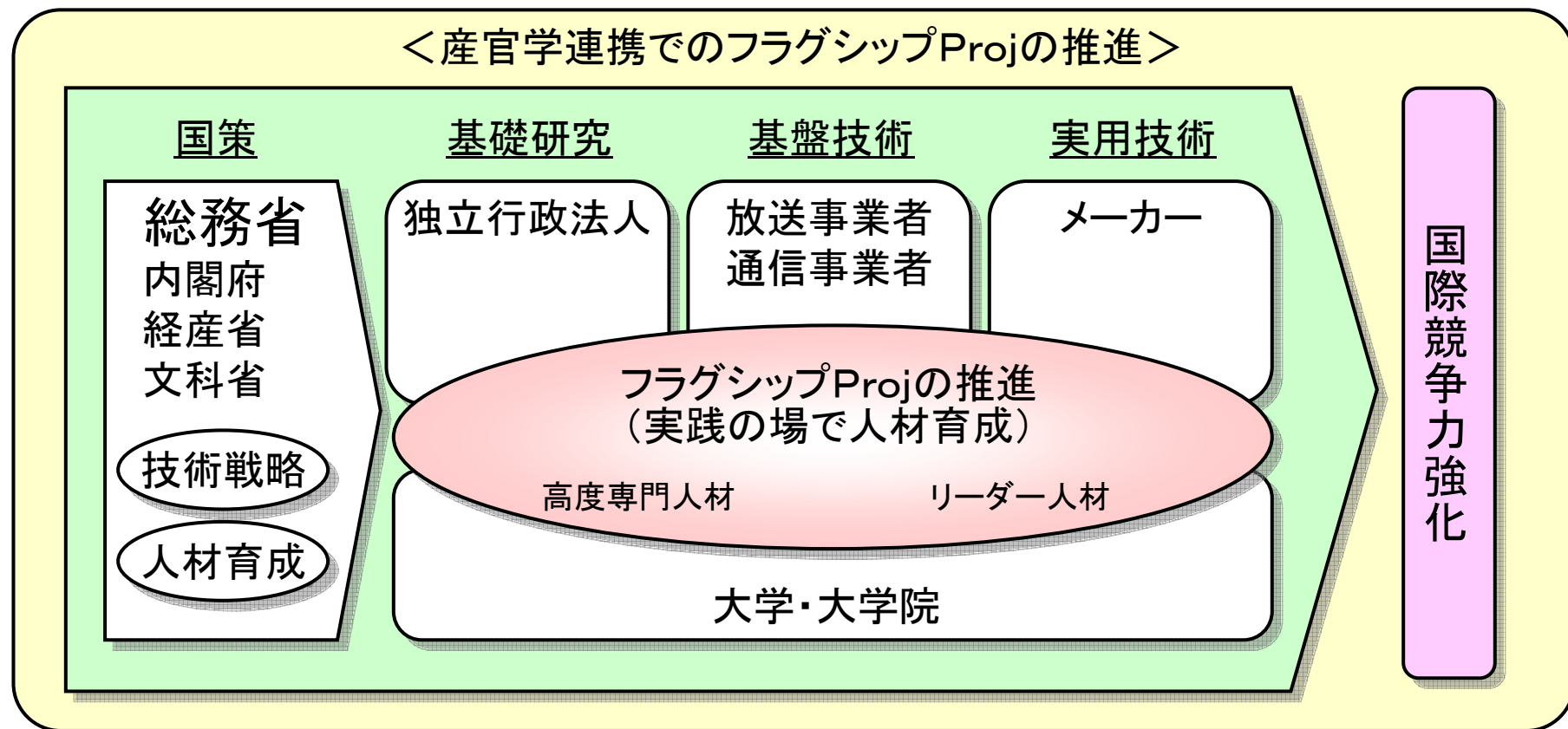
接続機器	PC	家電、センサー
台 数	1億台	100億台
用 途	ビジネス	生活
利 用 者	知識有	知識無
使われ方	意識的	無意識
開発者	コンピュータ技術者 通信技術者	家電技術者

家電のネットワーク接続に向けて技術基盤構築が必要

競争力強化に向けた仕組み

- ・国策としての戦略のもと、基礎・基盤・実用技術を産官学で分担。
JointでフラグシップProjを推進し、実践の場で人材を育成。

＜産官学連携でのフラグシップProjの推進＞



ICT分野強化のための人材育成

- ・家電のIP化対応は「IPネットワーキング技術者」、「IPネットワークアーキテクト」の育成強化が必要。
- ・更にインフラ基盤/サービスを含めたトータルなビジネスモデルへの展開が重要。

ネット家電機器の構成

